

## 第29回情報・システム・利用・技術シンポジウム 研究集会

### 発注者ニーズに対応した情報連携技術

当小委員会は、分類体系・建物モデル・図面情報という情報連携の要素技術のあり方の研究を進めるとともに、建設業界にとって建築モデルが真に役立つツールに成りえるか、いつごろ、どのような形で普及し使われるようになるかをテーマとしたフォーラムを開催するなどの活動を実践してきた。

今回は、「建物項目の分類体系」「建物モデル/プロジェクトモデル」「図面情報」といったキーワードによる情報技術の最大の受益者は、建物の発注者ではないかとの考えから、小委員会として研究集會を企画し、多くの方々との議論を尽くしたいと考える。

#### 【プログラム】

1. 発表	発表者 (敬称略)	9:20	10:55
(1) 主旨説明	岡本 修平 (当小委員会主査/清水建設)		5分
(2) CALS/EC 推進の視点から	加本 実 (日本建設情報総合センター:JACIC)		20分
発表概要(案)「JCCS、AP2005、海外事例などの紹介と CALS の理想と現実」			
(3) ディベロッパーの視点から	松井 直樹 (森ビル)		20分
発表概要(案)「図面情報の共有と活用について」			
(4) メーカーの視点から	篠塚 洋市 (トヨタ自動車)		20分
発表概要(案)「建物建設における建築・設備の調整について」			
(5) WG 報告		各 WG	10分
分類体系・用語 WG	三雲 正夫		
建築データモデル WG	恒川 裕史		
図面情報 WG	鹿島 雅彦		
- 休憩 (10分) -			
2. パネルディスカッション		11:05	12:00
パネリスト	加本 実 (前掲)		
	松井 直樹 (前掲)		
	篠塚 洋市 (前掲)		
	山下 純一 (IAI 日本)		
	岡 正樹 (設計製造評議会:C-CADEC / デルファイ研究所)		
	寺井 達夫 (情報連携技術小委員会 / 千葉工業大学)		
司会	岡本 修平 (前掲)		

主催 : 日本建築学会 情報システム技術委員会 情報連携技術小委員会

日時 : 2006年12月8日(金) 9:20 - 12:00

会場 : 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

定員 : 160名 (申込み先着順)

参加費 : 会員2,000円 登録メンバー2,500円 会員外3,000円 学生1,000円 (資料代含む)

\*参加費は当日会場にてお支払いください。ほかにも同参加費で参加いただける第29回情報・システム・利用・技術シンポジウム関連の研究集會が多数ございます。詳細は日本建築学会HPを参照ください。

申込方法 : E-mailにて「催物名称、(本会会員の場合)会員番号、氏名、勤務先、電話番号、E-mailアドレス」を明記のうえ申し込む。

申込み・問合せ : (社)日本建築学会事務局 研究事業部 伏見 E-mail: [fushimi@ajj.or.jp](mailto:fushimi@ajj.or.jp)